

防災

今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率は70%
私たちができる大地震への備え

TOUKAI-0「自分の命は自分で守る」

照会 都市政策課 ☎0537-8732

政府の地震調査研究推進本部地震調査委員会は、東日本大震災などの新たな知見に基づいて全国地震動予測地図を更新。「全国地震動予測地図 地図編 2018年版」を6月に公表しました。

「今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率」の地図で、東海～四国地域の太平洋側の確率はかなり高く、静岡市では70%となっています。大規模地震で家屋倒壊の被害に遭わないため、津波被害から逃れるため、家屋の耐震補強は重要です。

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅は、旧耐震基準で建てられており、大規模地震発生時に倒壊する危険性があります。予想される大規模地震から生き延びるためにも、早めに対策しましょう。

静岡県では「TOUKAI-0」という補助制度があります。ぜひご活用ください。

TOUKAI-0事業補助制度の流れ

①耐震診断

市が派遣する専門家による耐震診断を無料で受けることができます

②耐震補強計画の作成

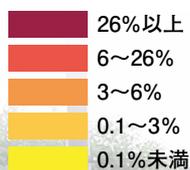
工事箇所、工事費を検討して、補強計画を作成します(補強計画作成費用の2/3を補助 上限有り)

③耐震補強工事

補強計画に基づき、耐震補強工事を実施します(補助金額：最高100万円)

※②と③を一体で実施する補助制度もあります。

図 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率



「全国地震動予測地図 地図編 2018年版」

